安全データシート

作成日　1995年06月16日
改訂日　2014年01月30日

製 品 名：Acrylamide for electrophoresis

１．化学品及び会社情報

製品番号　：110784
製　品　名　：Acrylamide for electrophoresis
製品和名　：アクリルアミド 電気泳動用
会　社　名　：メルク株式会社
住　所　：東京都目黒区下目黒1−8−1　アルコタワー
製品取扱部門　：メルクミリポア事業本部
MSDS発行部門　：EQJ部 EHSグループ
電話番号　：03-5434-5267
ＦＡＸ番号　：03-5434-5391
製　造　元　：Merck KGaA

２．危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	：	区分3
急性毒性（経皮）	：	区分4
急性毒性（吸入）	：	区分4
皮膚腐食性/刺激性	：	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	：	区分2
皮膚感作性	：	区分1
生殖細胞変異原性	：	区分1B
発がん性	：	区分1B
生殖毒性	：	区分2
特定標的臓器毒性（反復暴露）	：	区分1

シンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報

H301　飲み込むと有毒
H312+H332　皮膚に接触したり吸入すると有害
H315　皮膚刺激
H317　アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319　強い眼刺激
H340　遺伝性疾患のおそれ
H350　発がんのおそれ
H361　生殖能または胎児に悪影響のおそれの疑い
H372　長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害

注意書き

P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P280　保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P302+P352　皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P305+P351　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
P309+P310　ばく露した時または気分が悪い時は、直ちに医師に連絡すること。
P338　コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

３．組成及び成分情報

単一物・混合物の区別　：　　単一物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号（化審法）	官報公示整理番号（安衛法）	ＣＡＳ番号	ＥＣ番号
アクリルアミド	99.9%	$CH_2CHCONH_2$	(2)-1014	公表	79-06-1	201-173-7

４．応急措置

吸入した場合：
被害者を直ちに暴露した場所から空気の新鮮な場所に移動させる。
呼吸が止まっている場合は、人工呼吸を行う。
必要ならば、酸素吸入を行う。
直ちに医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：
多量の水で洗い流す。
ポリエチレングリコール等の軟膏を塗布する。
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。
直ちに医師の診察を受ける。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、よく洗浄する。
眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：
直ちに水(最大コップ2杯)を飲ませる。
直ちに医師の診察を受ける。
1時間以内に医師の診断を受けられない場合は、嘔吐させ(意識がはっきりしている場合に限る)、20-40gの活性炭10%懸濁液を与えて早急に医師の診断を仰ぐ。

５．火災時の措置

消火剤：
水，炭酸ガス，泡，粉末

特有の危険有害性：
温度上昇により、空気と混合し爆発性混合物を生成する。
粉塵爆発の危険性がある。
火災時に有害ガスを発生する。

副生成物：
窒素酸化物，窒素ガス

消火を行う者の保護：
適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他：
霧状水で容器を冷やす。
霧状水で、発生する蒸気等の拡散を抑制する。
消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
粉塵を巻き上げないように注意する。
粉塵を吸い込まないように注意する。

漏出物との接触を避ける。
適切に換気すること。
作業の際には保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

回収・中和等：
漏出物を回収し、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：
密閉化した設備または局所排気を用いる。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具（保護眼鏡・保護手袋・保護長靴等）を着用し、出来るだけ風上から作業する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

保管：
直射日光を避けて保管する。
乾燥状態で保管する。
容器は気密性を保つ。
換気のよい場所に保管する。
常温(15～25℃)で保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：
設備対策：
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。
密閉化した設備または局所排気を用いる。

衛生対策：
眼、皮膚および衣服に触れないようにする。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護の為スキンクリームを使用する。
吸入を避ける。

保護具：
呼吸用保護具：
粉塵発生の場合は、呼吸保護具を使用する。

その他：
適切な保護服・保護手袋・保護眼鏡等を着用する。

９．物理的及び化学的性質

形　　状	：	固体
色	：	無色
臭　　い	：	無臭
密　　度	：	1.127 g/cm³ (25℃)
ｐＨ	：	5.0～7.0 (50 g/l、20℃)
蒸 気 圧	：	0.009 hPa (20℃)
融　　点	：	84℃
沸　　点	：	125℃ (33.3 hPa)
引 火 点	：	138℃
自然発火点	：	424℃

爆 発 限 界　：下限　データなし
上限　データなし
オクタノール／水分配係数　：log Pow：-1.24
溶　解　性　：水に溶ける。
2040 g/l (25℃)

１０．安定性及び反応性

反応性：
重合しやすい。
粉塵爆発のおそれがある。
蒸気は、空気と爆発混合物を生成するおそれがある。

危険有害反応可能性：
激しく反応するおそれ:
酸、酸化剤
激しく反応するおそれ:
アルカリ、塩基、還元剤、金属
激しく反応するおそれ:
重合開始剤

避けるべき条件：
光
熱
熱で分解する。

１１．有害性情報

急性毒性：
LD50(oral/rat)　：　124mg/Kg　(RTECS)
LD50(dermal/rabbit)　：　252mg/Kg

皮膚に付着、目に入った場合：
皮膚から吸収される。
皮膚を刺激する。
眼を激しく刺激する。
皮膚アレルギー反応のおそれがある。

吸入した場合：
吸収される。
粘膜を刺激する。

吸収された場合：
中枢神経障害をおこす。
筋無力症、振戦、てんかん性発作をおこす。
大量の場合、運動失調のおそれがある。

飲み込んだ場合：
口腔、咽頭、食道、胃腸管を刺激する。
吸収される。

遺伝毒性等：
小核試験：陽性　　哺乳動物細胞を用いた試験 (in vivo) (IUCLID)
変異原性：陽性　　哺乳動物細胞を用いた試験 (in vivo) (IUCLID)
発がん性のおそれがある。
遺伝子異常のおそれがある。
生殖障害のおそれがある。

その他の有害性：
長期または継続摂取：臓器を損傷するおそれ。
腎臓障害をおこす。

１２．環境影響情報

生態毒性：
LC50　100 mg/l (96h) (IUCLID)
ブルーギル
EC50　98 mg/l (48h) (IUCLID)
ミジンコ
IC50　72 mg/l (IUCLID)
藻類
EC50　13500 mg/l (IUCLID)
細菌（フォトバクテリウム属）

残留性・分解性：
良分解性である。

生体蓄積性：
蓄積性は見られない。

その他：
自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装：
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

１４．輸送上の注意

国連番号　：2074
品名　：ACRYLAMIDE, SOLID
クラス　：6.1/III

国内規制：
毒物及び劇物取締法：医薬用外劇物　（アクリルアミド）

安全対策：
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

アクリルアミド
毒物及び劇物取締法：劇物　政令番号：指定劇物 1-3
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：第1種指定化学物質　政令番号：2
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：優先評価化学物質
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質
労働安全衛生法第57条：表示対象物質
労働安全衛生法特化則：第2類物質

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい